

文協通信

第91号
2026・7・1

(発行) 高野 宗佳

(一社) 町田市文化協会

(編集) 竹井 鶴迢

題字・平野 南秋

ごあいさつ

令和八年 文月朔日

(一社) 町田市文化協会会長 高野 宗佳

裏千家十五代家元
鵬雲斎筆



流水青山を繞り、深山も一入美しい候となりました。
皆様にはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。
さて、6月定時総会及び懇親会のおりには、町田市長稲垣こうじ様、衆議院議員川松真一朗様・正副議長はじめ多くの議員の皆様、賛助会員の皆様にもお出まし頂き、お励ましの数々を頂きましたことは誠に心強く、心より有難く感謝申し上げます。かくして愈々令和8年度の事業が始まりました。

おりしも町田市は、文化芸術のまちづくり計画のスタートと共に「文化芸術を育み、笑顔咲くまち、町田でレッツスタート」というキャッチフレーズのもと、文化振興を進めております。当協会におきましても、この計画に寄り添い、折に触れて協力し、町田市の文化振興に微力ながら努めて参りたい所存でございます。

また、町田市議会におきましても、第18期市議会議員茶道部を立ち上げられ、6月には第一回目のお稽古が始まりました。議員茶道部古参の先輩達と新人の皆様と一座建立にて、茶道の成り立ちや四規「和敬清寂」の精神、お客の作法等茶道文化を学ぶひとときもございました。



このように、行政、議会そして市民の皆様が、一つの心で町田市の文化芸術の振興に向けて活動できますことは、まことに有り難いことと存じております。

町田の未来に希望を持ち「更上一層楼」精進して参りたいと心より念じております。

引き続きご支援ご協力の程をお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

衆議院議員 川松 真一朗



町田市文化協会の会員の皆様、ならびに地域の文化活動を支える皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

先の衆議院議員選挙において、多くの皆様から力強いご支援を賜り、議席を預かることとなりました、衆議院議員の川松真一朗です。

先般、町田茶道会主催の茶会に出席させていただきました。茶道の経験が浅く緊張気味の私でしたが、周囲の皆様に温かく教えていただき、無事にお席を終えることができました。その際、高野会長から「お作法なんてまだ知らなくていい。日本の文化に興味を持って、参加していただければ何よりなのだ」と大変温かいお言葉をかけていただきました。その深い包容力に救われるとともに、おもてなしの心という伝統文化の本質に触れた気がいたしております。

急速に変化する社会において、こうした伝統や芸術の持つ力は、人々の心を癒やし地域を結びつける絆として、今最も必要なものであると強く実感しております。貴協会がこれからも多様な文化活動の発展を支え、町田の地に豊かな文化の灯をともし続けられるよう、私も微力ながら取り組んでまいります決意です。皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

賛助会員の皆様へ

今年もはや七月となりました。

日頃より当協会の主旨にご賛同下さり、ご協賛をいただきまして誠にありがたく、改めまして心よりお礼を申し上げます。

9月には研修事業「江戸文化に親しむ」特別公演を、10月末は第48回「町田市民文化祭」が開催されます。

「文化芸術で笑顔咲くまち」となりますよう念じつつ、引き続きご支援の程お願い申し上げます。

(一社) 町田市文化協会会長 高野 宗佳

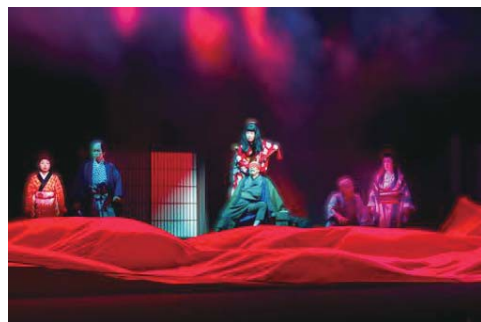
昨年「おんやりょう」で演劇鑑賞会に入会しました。演劇は鑑賞し始めると、ほかの趣味と同じように習慣性というか、中毒性があるようです。とても充実した一年間になりました。

今回、第224回例会劇団前進座の「あかんべえ」を鑑賞しました。みやべみゆ



きの得意ジャンルの江戸怪奇時代小説を原作としています。原作も読んでいたので、どう舞台化されるのか楽しみにしていました。

大部の小説をうまくコミカルな舞台に仕上げていて脚本の力を感じました。私の年齢くらいになるとシリアスな考えさせるような劇より、底抜けに楽しめる舞台の方が楽しめました。



「西園にて新緑と楽しむ茶会」に参加して

(株)大沢園 大沢 拓郎

このたび、「西園にて新緑と楽しむ茶会」に設営側として参加する機会を頂戴し、微力ながらお手伝いをさせていただきました。

このお茶会は町田市政50周年の折に町田市と町田茶道会のおもてなし協働事業として始まり、初開催から20年を迎える事業とのお話を高野会長より伺っております。当日は、ご参加された皆様が心地良い春の陽気の中でお茶を楽しみながら笑顔で過ごされている様子を見ることができ、私も心が豊かになるような時間を過ごすことができました。



私は植木屋として日頃から緑に囲まれて仕事をしておりますが、薬師池公園西園の開放的な空間で新緑を眺めながら野点のお茶会に参加することで普段とはまた違った感覚で自然の清々しさを体感することができ、柔らかな若葉の色合い、風に揺れる枝葉の音、木漏れ日が織りなす景色などから、季節のうつろいの素晴らしさを改めて感じました。そして、このような空間もまたひとつの“おもてなし”なのだと感動したことが強く印象に残っております。このような気付きが得られる貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

今回の経験を通して、美しい自然を守ることは人の心を豊かにできることであることを改めて感じるとともに、植木屋という仕事にも誇りを持ち、これからも町田市の緑を大切にしていきたいと思いました。

この素晴らしいお茶会が今後ますます多くの方々に親しまれることを心より願っております。

町田市まちづくり課と茶道会のおもてなし協働事業

「薬師池西園で新緑と楽しむ茶会」



体験席

第44回 町田市民謡演奏大会

恒例となっている民謡協会の演奏大会が4月26日(日)に市民ホールで開催されました。
コンクールは年齢別におこなわれ日頃の自慢の喉を競いました。



能登震災復興支援チャリティーコンサートを終えて ————— 音楽の泉代表 斉藤 恵津子

音楽の泉チャリティーコンサートを町田市民ホールで4月25日に開催しました。特別ゲストに山本リンダ、ゲストにシャンソン歌手の栗原道子、日野美子、深江ゆか、たむらりょういちの皆さんと、金沢からゲストに薔薇美子さんを迎え、音楽の泉メンバー岩花淑子、吉田治子、大中宮子、児玉正浩、斉藤恵津子と、女性コーラス“コールドクライス”が5人編成の豪華メンバーの演奏で歌い、リンダさんもアンコールで「狙い撃ち」を歌い大歓声の中で無事に終える事ができました。収益金と募金収入は、町田から震災後50回以上現地に赴き支援活動をされている丹羽昭尋さんに託す事にいたしました。皆様のご協力、心から感謝いたします。

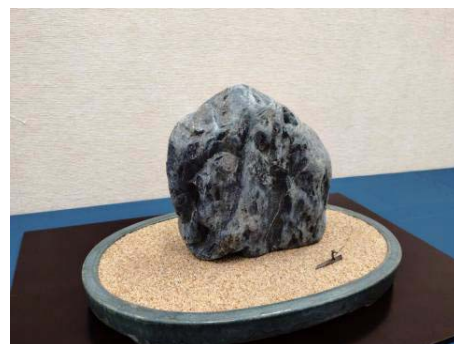


武相愛石会 第48回 石展（室内鑑賞石展）

武相愛石会 白井 省三

5/30、31で町田市民ホール4F、ギャラリーで開催しました。現在、14名で活動していますが、河原や海岸などに行き、自分の感性に合った石や、伝統的な美意識に基づいた石の質、色、形などを見極めて拾い上げます。

拾った石は切断・加工したりせず、彩色を施したりもしません。自然の造形物をそのままに、砂を入れた水盤や飾り棚に載せ鑑賞します。



岩田マンドリーノ・シンフォニカ 第63回演奏会

令和8年6月21日(日) 町田市民ホールにて開催



令和8年 第48回 **咲かせよう!!**

町田市民文化祭 “秋の催し”

10月29日(木)～11月4日(水)

11月2日(月)休館

個人・団体情報

■町田茶道会

* 月例茶会 (予約制)

お茶席は2席設けます。

席数は4回、お席は2席続けてお入り頂けます。

7月19日(日)

「広間席 山吹の間」席主：裏千家 高野宗佳社中

「立礼席 けやき西」席主：宗徧流 岡野宗幹

9月20日(日)

「広間席 山吹の間」席主：江戸千家 倉持宗江

「立礼席 けやき西」席主：大日本茶道学会 西村雅仙社中

10月18日(日)

「広間席 山吹の間」席主：大日本茶道学会 有賀仙陽

「立礼席 けやき西」席主：煎茶玉川遠州流 栗原清鳳

時 間：①10：00 ②11：30 ③12：40 ④14：00

会 場：プラザ町田ビル (町田市文化交流センター5階)

お茶席代：3,000円

問い合わせ・申し込み

TEL 044-988-1757 (事務局)

MAIL machida.sado@gmail.com

■研修事業

※立川晴の輔独演会2026

令和8年9月12日(土) 13：30開場 14：00開演

お呈茶付き 12：00～13：30

和光大学ボプリホール鶴川

■演劇鑑賞会

※第226回例会

日 時：令和8年8月13日(木)・14日(金)

イツフォーリーズ公演「ミュージカル ピエタ」

町田市民ホール

■町田市美術協会

※第32回町田市展

日 時：令和8年8月26日(水)～30日(日)

場 所：町田市立国際版画美術館

■マチーダ楽団 演奏会

日 時：令和8年9月13日(日)

場 所：町田市文化交流センター6階ホール

一般社団法人 町田市文化協会

住 所：〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36
町田市民ホール内

TEL/FAX：042-850-8422

Mail：machida.bunka@gmail.com



文化協会ホームページ